

# 文芸とうかい

【俳句】

摘み草やこれが董と教えられ

村松 川崎 常義

曲る釘なだめ日永の棚作り

白方中央 柴田 一声

まんさくに朝の光りの輝きて

外宿 照沼あや子

槌振るう石工の肩に冬木の芽

舟石川 佐藤 とよ

友と行く樹氷見ゆるや蔵王にて

豊白 中島エミ子

やつと春可憐さ魅せるかたくりや

外宿 西山 純一

中津川桃山行きの橋のあり

村松 正木 幹夫

白梅のやつと咲きだす離れ宿

舟石川 舛井 愛子

軽やかな鳥の羽音や春走り

白方中央 根本 怜子

はりつめし心もゆるむしずり雪

白方中央 根本 武

【短歌】

土中にしつかり根を張るほうれん草青々として  
冬を越えたり

外宿 小林美代子

如月の朝霜踏めばさくさくと耳にひびくは春の

足音

船場 村上より子

指導者からのメッセージ

少年育成  
月体験記  
PART. 73



「早春の日だまりに咲く黄色いたんぼぼのように、子どもたちの心をほっとさせることができたらいいな。そして、春風に飛んで、読書の種子を広く皆さんの所に飛ばせたら」。そんな願いを込めて、私たちが「たんぼぼの会」は、図書館で毎週土曜日に読み聞かせを行っています。

季節に応じて、「今日はどんなお話を読んであげようかな？」と考えるのも、一つの楽しみとなりました。また、お話会が始まるまで、何歳くらいの子どもたちが来てくれるのか分かりませんから、いろいろな

本を準備します。人数が少ないときもあれば、たくさん集まってくるときもありま。絵本の中のちよつとした一言から、子どもたちと愉快な話が、この年齢の子どもたちにはちよつと難しいかなと思つた本でも、食い入るようにお話の世界に入つてきてくれることもあります。そんな予想外のことが、読み聞かせの面白さだと思います。

読み聞かせは、大型絵本や紙芝居のほか、パネルシアター、エプロンシアターなどを行つており、その合間に手遊びや歌遊びも取り入れています。そして、集まってくれたみんなで楽しむ読み聞かせの1時間は、あつという間に過ぎてしまいます。最近では、子どもと一緒に来てくれるお父さんの姿が増えてきたようです。とてもすてきなことだと思えます。また、たんぼぼの会では、図書館でのこれらの活動のほかに、依頼をいただいた幼稚園や保育所(園)、小学校などへ、読み聞かせに出向くこともあります。

自分の子どものために始めた読み聞かせですが、この会に参加して、いろいろな方たちと出会い、刺激をいただき、さらに、仲間たちと勉強を重ねることで、自分の人生にとってもプラスになつていと思っています。

拉致されし子を戻すべくひたすらに年月積みし  
親も老いたり

村松 高橋 正弘

寢床にてせみしぐれかと思いは遠く聞ゆる海  
なりの音

船場 中井川しげ

水ぬるみ水藻緑を増す中に生きいきとして小魚  
およぐ

南台 根本内俊男

三年間健康保険使わぬと我八回目の感謝状受く

舟石川 工藤和一郎

目ざめれば見渡す限り雪にして枝重きまで庭木  
にも積む

外宿 高槌 すみ

ひなかざりこだけ春の花ありて里の根雪は硬  
くのこれり

内宿 村上 文江

朝夕の寒さの続く日々ながら青菜色ます啓蟄近  
く

船場 舛井庫之助

ぬいぐるみあつかう様に幼子の猫かかえきて遊  
ぶ明るさ

須和間 柴山 靖子

晴耕の日々と書かれし房総の友の便りを暖とり  
て読む

緑ヶ丘 佐藤 正

前山に鶯鳴けば春つげる声と思いてしばしわが  
聞く

舟石川 小川志つ江

黄の蓄いまだに固き枝そへて山菜更の苗木友持  
ちくれぬ

船場 吉沼 良子

### ●「文芸とうかい」作品募集

掲載を希望する方は、はがきに住所、氏名、  
電話番号を明記の上、掲載を希望する号の発  
行1か月前までに届くように、かい書（読み  
にくい漢字にはルビを付けて）で作品をお送  
りください。応募者多数の場合は先着順とな  
ります。なお、応募作品は一部添削すること  
がありますので、ご了承ください。

## エッセー頑張る 今どきの 青少年 VOL. 83



### ウィンターカップに出場して

明秀学園日立高等学校2年

船場 葛木 晴雅

私たち明秀学園日立高等学校バスケット  
ボール部員は、ウィンターカップ(全国高  
等学校バスケットボール選抜優勝大会)に  
出場してベスト4になることを、最大の目  
標としていました。

平成17年は茨城県新人大会から始まり、  
関東大会茨城県予選会、インターハイ(全  
国高等学校総合体育大会)茨城県予選会に  
おいて、土浦日本大学高等学校にまさかの  
敗北、悔し涙の連続でした。「どうしたら、  
あのライバル校に勝つことができるのか」、

私たち部員は自問自答を繰り返しながら、  
必死の思いで苦しい練習に耐え抜きました。  
そして、ウィンターカップ茨城県予選  
会で、あのライバル校を打ち破り、栄えあ  
る全国大会出場の切符を手に入れることが  
できました。その全国大会の会場となつた  
のは、4面のバスケットボールコートを持  
つ、あこがれの東京体育館。会場内は、闘  
志に燃える選手たちからの熱気に包まれ、  
私たちは緊張の連続でした。

1回戦は、広島県代表の県立広島皆実高  
等学校です。このチームは、あたりがと  
ても強くてスピードがあり、全員がよくま  
とまっています。「ここぞ」というときに、  
よく声が出ていたり、シュートを確実に決  
めるなど、非の打ちどころがないチームで  
した。悔しい結果で試合を終え、あらため  
てチームワークの大切さ、全国のレベルの  
高さなどを思い知らされた大会でした。

そして今、新たな目標に向かって日々練  
習に励んでいます。特に、今の自分に不足  
している苦手を「走り」を克服するため、走  
ることの楽しさをイメージしながら鍛錬を  
重ねています。また、この苦しさを乗り越  
えて、先輩方から教わったこと一つ一つを  
胸に刻み、一戦でも多く勝てるように、チ  
ーム一丸となつて頑張っていきたいと思  
います。